

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年9月15日  
枚方市立禁野小学校

文部科学省が6年生を対象に今年4月に実施した、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

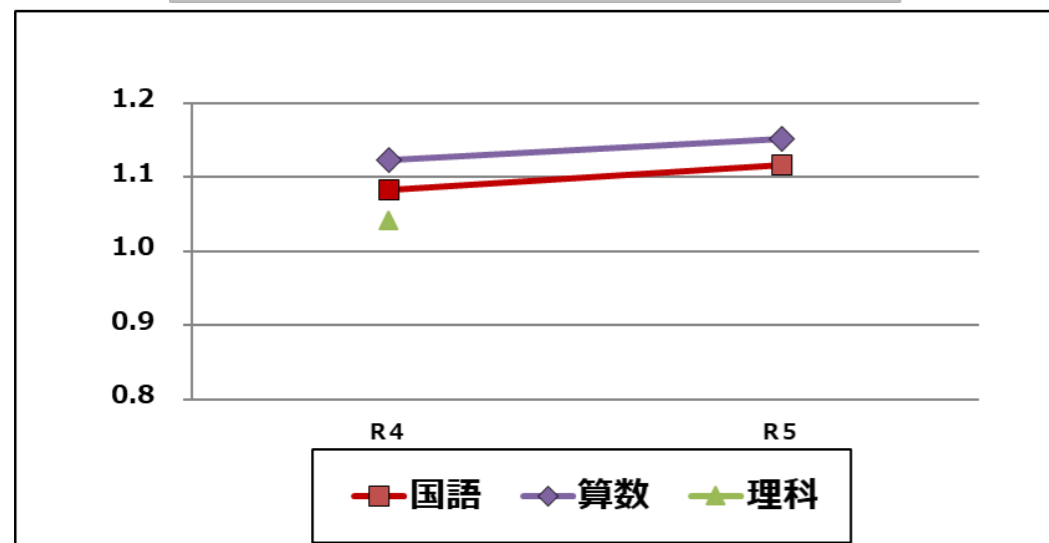
## 【全体概要】

### 学力調査の結果

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

#### (全国の平均正答率を1とした経年比較)



※本校は令和4年度創立のため、過去2年間の掲載としています。  
※理科は令和5年度未実施の為、掲載していません。

### <学力調査結果の概要>

#### ○国語について

全国平均を上回っています。

ほぼ全ての問いについて、全国平均を上回る結果となりました。

一方、情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問いでは、課題が見られました。

#### ○算数について

全国平均を上回っています。

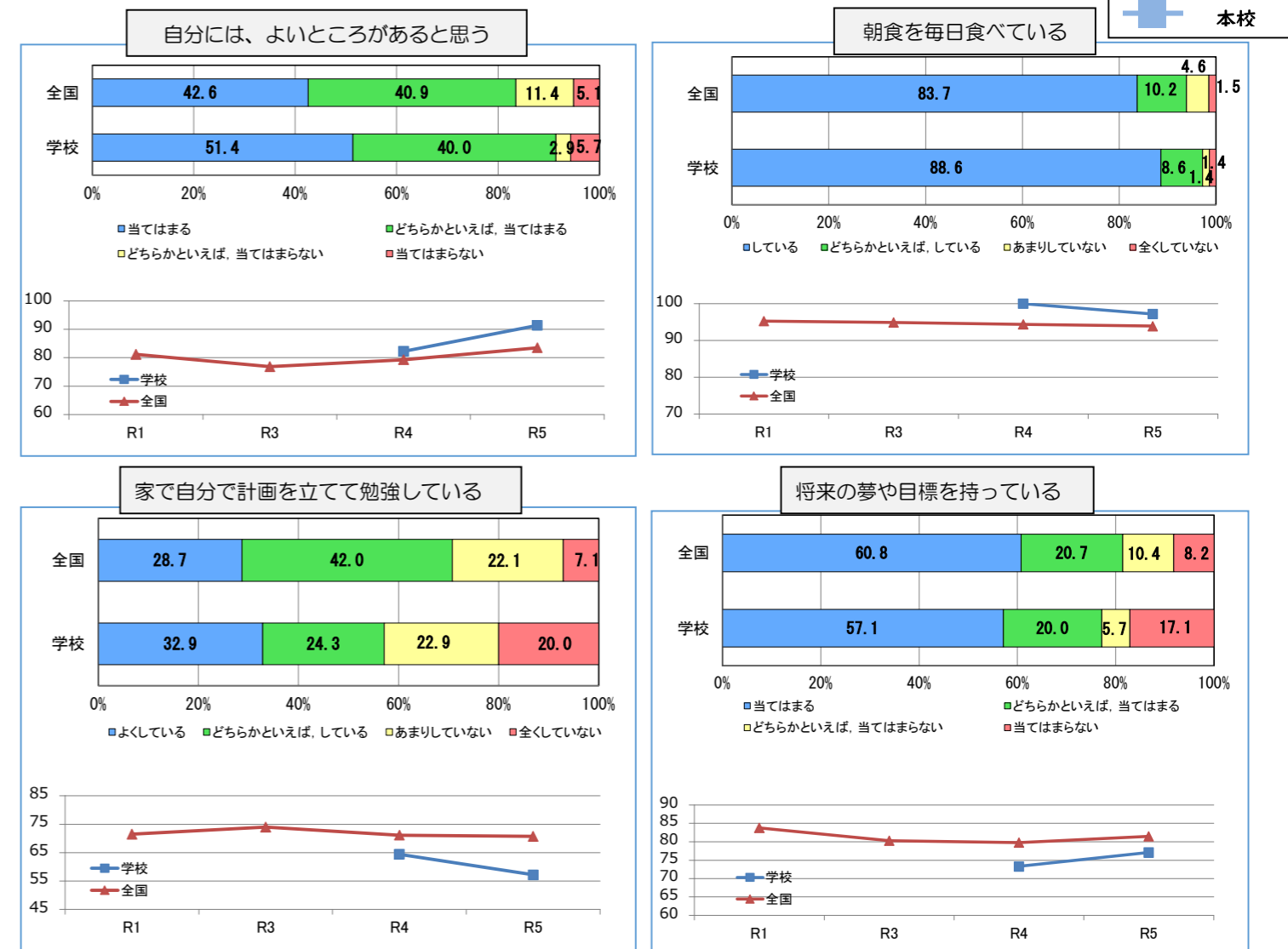
ほぼ全ての問いについて、全国平均を上回る結果となりました。

一方、正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問いでは、課題が見られました。

### 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



### <質問紙調査結果の概要>

「自分には、よいところがあると思う。」の肯定的回答が全国を大きく上回っています。また、「朝食を毎日食べている」等、生活習慣に関わる項目についても、全国と比較して高い結果となっています。

一方で、「家で自分で計画を立てて勉強している」や「将来の夢や目標を持っている」等については、全国を下回る結果となりました。

### まとめ

本校の児童は、毎日の基本的な生活習慣が身に付き、自己肯定感も高い傾向が見られることから、家庭の教育力の高さが伺えます。児童の生活習慣と学力には相関関係があり、各教科においても概ね良好な結果となりました。

課題としては、「自分で」考え、「自分で」目標を立て行動する力をつけていくことを中心に取り組むことが必要であると考えています。

学力調査・質問紙調査の結果を詳細に分析することで、具体的な取り組みにつなげてまいります。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

# 【詳細について】

## 教科に関する調査

### <国語> 成果や課題があった設問

#### 【成果】

##### 一問題の概要

敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する

- |       |         |         |        |
|-------|---------|---------|--------|
| 4     | 3       | 2       | 1      |
| ア     | ア       | ア       | ア      |
| 申しした  | おっしゃった  | 申した     | おっしゃった |
| イ     | イ       | イ       | イ      |
| うかがって | お聞きになって | お聞きになって | うかがって  |

聞きのがしたことを相手に確かめるとき  
 ○○さんが  ことを、もう一度  いいですか。

【谷さんのノートの一部】  
 三 谷さんは学習をふり返り、インタビュをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の【谷さんのノートの一部】の  と  に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	79.7	5.1
全国	57.6	9.5

#### （国語についての考察）

敬語の使い方を問う問題においては、全国平均を大きく上回る結果となりました。今後も日常生活の中で、意識的に敬語の正しい使い方を指導していきます。

一方、本調査では初めて取り上げられた、情報をどのように整理しているかについて説明したものを選択する問題では、課題が見られました。

日頃から、図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりできるような活動を取り入れていく必要があります。

#### 【課題】

##### 一問題の概要

相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する

- 1 自分にとって分からない言葉や四月や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉や四月や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 3 自分にとって分からない言葉や四月や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉や四月や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

**栄養素の働き**

規則正しく食事をするこにより、体が活動に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べたりしていると、栄養がよくなってしまったり、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のようにより、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。  
 肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。  
 魚や野菜などは、主に体の調子を整えるもとになります。

（栄養素の主な働きと食品の例）

- 主にエネルギーのもとになる：米、パン、バターなど
- 主に体をつくるもとになる：肉、卵、牛乳など
- 主に体の調子を整えるもとになる：野菜、果物など

	正答率	無解答率
本校	47.5	0.0
全国	62.0	1.6

### <算数> 成果や課題があった設問

#### 【成果】

##### 一問題の概要

テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ

(1) ゆいさんは、下のようにテープを直線で切って、①、②、③、④のよう四角形をつくりました。

①、②、③、④について、どのような四角形なのかを、次のようにまとめます。

①、②、③、④はどれも  です。  
 なぜなら、 だからです。

上の①にあくはまるものを、下の1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の②にあくはまるものを、下の6から10までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

	正答率	無解答率
本校	78.0	0.0
全国	59.8	0.7

- 1 長方形
- 2 正方形
- 3 台形
- 4 平行四辺形
- 5 ひし形
- 6 向かい合った2組の辺が平行な四角形
- 7 向かい合った1組の辺が平行な四角形
- 8 4つの辺の長さが等しい四角形
- 9 向かい合った2組の長さが等しい四角形
- 10 向かい合った1組の長さが等しい四角形

#### 【課題】

##### 一問題の概要

切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く

(2) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくりました。

【えいたさんのつくり方】

- ① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。
- ② 右の図のように、折り目の点をケとします。
- ③ 折って重ねたまま、点ケを通るちぐわの直線で切ります。
- ④ 開くと三角形ができました。

ゆいさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。

ゆいな：私は、④の角の大きさを20°にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。

わたる：私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいさんちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にすればよいですか。  
 答えを書きましょう。

#### （算数についての考察）

図形の領域において、全国平均を大きく上回った問題と、全国平均を上回ってはいるものの約3割の正答率しかなかった問題とに分かれました。

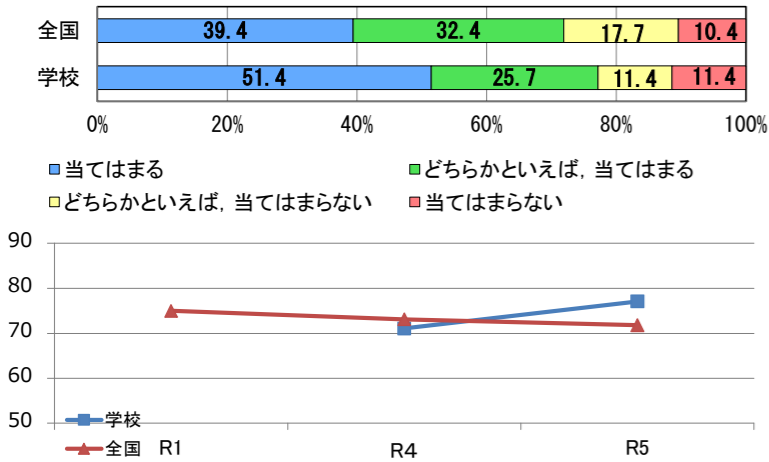
台形の意味や性質については理解できていますが、正三角形についての問いでは、1つの角度が40度や60度と答えている児童が多いことから、二等辺三角形と混同していたり、テープを切って開いたことに着目できていなかったりすることがわかります。1つの図形を様々な方法で取り扱いながら学習する活動を取り入れていく必要があります。

# 質問紙に関する調査

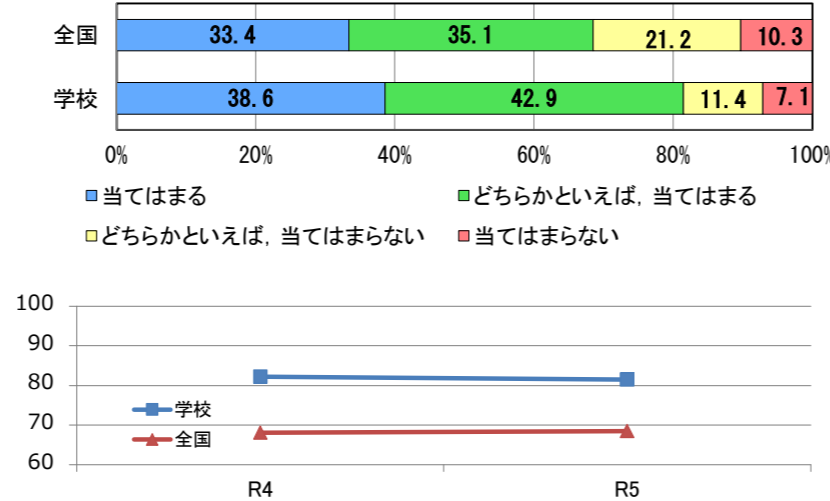
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

## 【成果のあった項目】

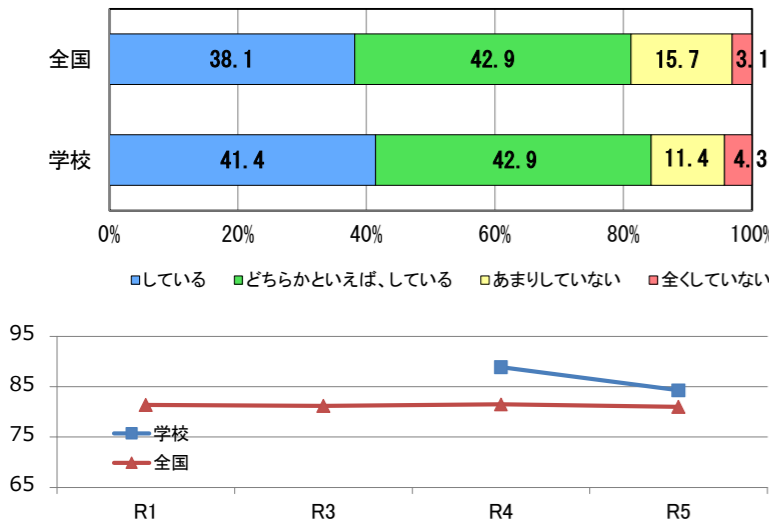
### 読書は好きである



### 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



### 毎日、同じくらいの時刻に寝ている

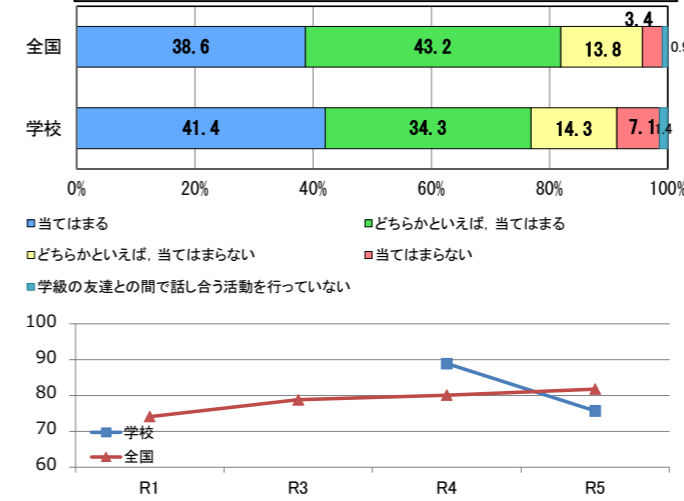


#### 【考察】

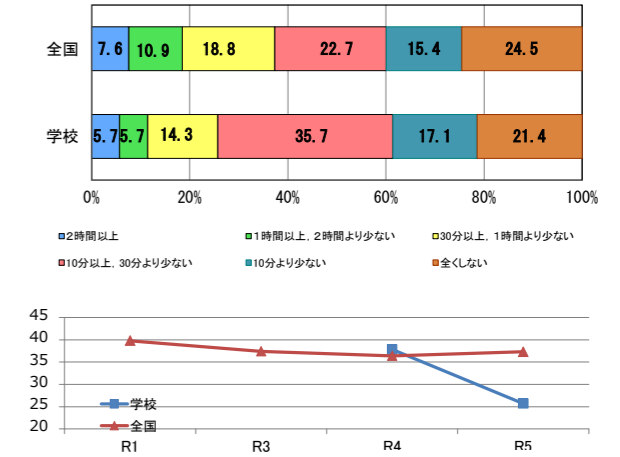
- 読書が好きな児童が多いことがわかります。特に強肯定「当てはまる」と答えた児童が半数以上います。
- 困りごと等があった時に学校の教職員に相談する児童が全国の割合より多く、教職員との関係が良好であると言えます。一方で「当てはまらない」と答えた児童が7%以上いることが課題です。
- 朝食と同様、就寝の時刻が決まっている児童が多く、基本的な生活習慣が定着していることがわかります。
- 5年生までに自分の考えをまとめる活動を取り入れている授業が行われていると感じている児童が多いことがわかりました。

## 【課題のあった項目】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり30分以上読書をする



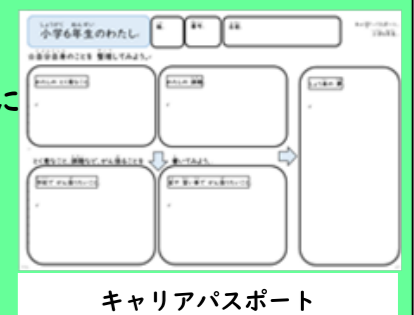
#### 【考察】

- 自分の考えを深めたり、広げたりするなどの協働的な学びを充実させる授業を行っていく必要があります。
- 読書が好きな児童が多い一方、読書をする時間が少ないことが課題です。



## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

- 将来の夢や目標を持てる子どもを育てるために。  
 小学校1年次より、系統的な取り組みを基盤とした指導計画をもとに作成したキャリアパスポートを用いて、児童の発達段階に応じたキャリア教育を行っています。児童が学校で学んでいることと自分の将来を結びつけて考えたり、自分の興味や自分らしさに気づいて、それらを伸ばしたり、自分で考えたりできるようになるよう、各教科の学習と関連づけて教育活動を充実させます。



- 個別最適・協働的な学びを充実するために。  
 個別の学習と協働的な学習を相互に関連させ、自分の考えを深めたり広げていったりしながら児童一人一人が主役となる学習活動ができるよう、教職員一同が授業研究や校内研修を行い、授業力向上に努めます。また、家庭学習の定着を図ります。家庭でタブレットなどを用いて事前に調べ学習に取り組んだり、復習やふり返しとして学習したことをまとめたりして、家庭と学校各々の学習が相互に良い影響となるような取り組みを推進します。

- 読書活動を充実するために。  
 読書をする時間が少ないというアンケートの結果から、図書の時間以外にも、朝の学習の時間に週に1回読書をする時間を確保したり、調べ学習で読書をする時間を設けたりしていきます。今年度、大阪読書推進会と朝日新聞大阪本社による「読書ノート運動」の取り組みに参加し、読書の記録が児童自身でわかり、意欲的・習慣的に読書活動が取り組めるようにしています。また、図書館司書による本の紹介や読み聞かせなど、児童が読書活動に楽しんで取り組める活動を続けていきます。

